特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 341 号] 令和３年４月１日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

風間船着場/6 名 6 袋回収

3 月 31 日(水)、定例活動に古田、村田、矢部、石崎瑠、井坂、中島の 6 名が神明排水機場から風間船着場間 1.5 ㎞で **6 袋分と太い孟宗竹 1 本の成果**でした。甚左衛門船着場のフジの木の花の様子を見てから、進路を北に向けてゴミ拾い活動をしました。満潮時から引き潮に反転した時間帯で、北風を受けながら頑張って

ゴミ拾いをしました。日本化学産業付近で、矢部氏が太い孟宗竹 1 本を拾い上げ、ロープ

で左岸船着場まで曳航してくれました。春休み中の瑠一君も参加し、往復 3ｋｍをしっかりと漕ぎ切ることが出来ました。今日は、満開の桜も散り始め、川面には花びらが広がって流れていました。三密に気を付けて活動しました。お疲れ様でした。

「草加市自主水防団」設立

1　はじめに

草加市は関東地方利根川水系の中央部に位置し、平均海抜 3.5m、東に中川(古利根川)、中央に綾瀬川が流れる低湿地帯に 25 万人が暮らしている。私達の郷土は、明治 43 年と昭和 22 年に利根川決壊による大洪水に見舞われている。近年、各地で異常気象、線状降水帯による洪水が発生している状況を見た時、かつての経験の再来は明らかに予見できる。歴史の教訓を活かし、来るべき大洪水に備え、ここに草加市自主水防団を発足いたします。

2　目的

来るべき大洪水時に、自衛隊、消防局、行政と連携し、所有の救助艇を出艇し、人命救助、救援物資の輸送の支援活動を実施します。

3　組織

行政の要請に従い、人命救助、救援物資輸送に自主水防団を機能させます。

組織は、水防団長 1 名、副団長 3 名、総務部長 1 名　事務局長 1 名、物資運搬部長 1 名、食料補給部長 1 名、危機管理部長 1 名、情報収集部長 1 名、広報部長 1 名、救護部長 1 名、器機修理部長 1 名、団員若干名とします。さらに、団の適切な運営を図る相談役を置きます。

・相談役　佐藤宣勝　遠山善吉
・水防団長　木村高明　・水防団長代理　林　和明　活動の全体指揮を執る
・副団長　　小野里雅司　中村裕次　松永　泰　　団長を補佐する
・総務部長　古田冨二雄　・総務部長代理　荻原光則　目的実現の運営全般を掌握する
・事務局長　中島清治　・事務局長代理　渡邉　篤　組織運営の事務を掌握する
・物資運搬部長　村田孝文　脇谷道夫　窪耕太郎　三池　隆　磯部亮介　並木秀和
　　木下和紀　大原宏行　矢部正平　樫村康司　救援物資輸送活動と統括
・食料補給部長　佐藤しづ江　黒田陽子　間宮理加　梅田玲子　食料補給　炊き出し
・危機管理部長　大原宏行　矢部正平　　目的実現のための研修や訓練の要となる
・情報収集部長　小野里雅司　井坂　治　ドローンで被害状況の把握をする
・広報部長　井坂次男　井坂　治　　自主水防団の活動を広く広報する
・救護部長　石崎民子　　救護全般
・器機修理部長　大久保弘　富沢有希　救助艇・船外機修理全般

4　入団資格

自主水防団の目的に賛同し、入団申込書提出と年会費 10,000 円を納入した者とする。

5　研修・訓練

・各種の危機管理研修会、講演会に参加し、団員の資質の向上に努める。
　消防局の普通救命講習会の受講を奨励する。
・月末定例活動日に、水難救助訓練を実施し、救助艇の操船技術の向上、救命浮環の投てきと引上げ技術の向上を図る。国家試験小型船舶操縦免許の取得を奨励する。

6　水難救助訓練実施予定表　※別紙

7　その他　　・団員等の保険は加入済である。

付則　2021.4.1 より総会に諮り、議決された後に正式発足とする。

※ 以上、自主水防団の組織等の概略です。活動を通して改善点を明らかにし、修正してまいります。引き続き意見を寄せてください。(事務局)